

平成 20 年度 第 4 回八戸市地域公共交通会議資料

八戸駅乗降調査結果概要

目次

1.八戸駅乗降調査結果の概要	1
2.共同運行化による八戸駅乗降者人数等の増加について	7

平成 21 年 2 月 19 日
八戸市地域公共交通会議

1.八戸駅乗降調査結果の概要

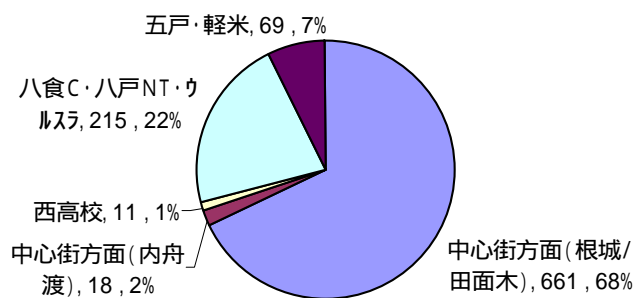
平成 20 年 12 月 10 日（水）6 時～22 時 30 分の間にバス停留所別・バス会社別に調査実施、30 分単位で集計（注：八食センター休業日）

（1）1 日あたりの乗車人数

1 日の総乗車人数は 974 人となった。

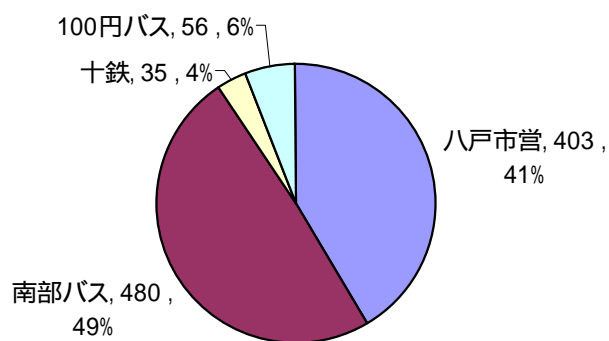
方面別では、中心街（根城大橋/田面木経由）方面が 661 人（68%）、八食センター・八戸ニュータウン・聖ウルスラ学園方面が 215 人（22%）、五戸・軽米方面が 69 人（7%）、中心街（内舟渡）方面が 18 人（2%）を占める。

方面別乗車人員(人/日)



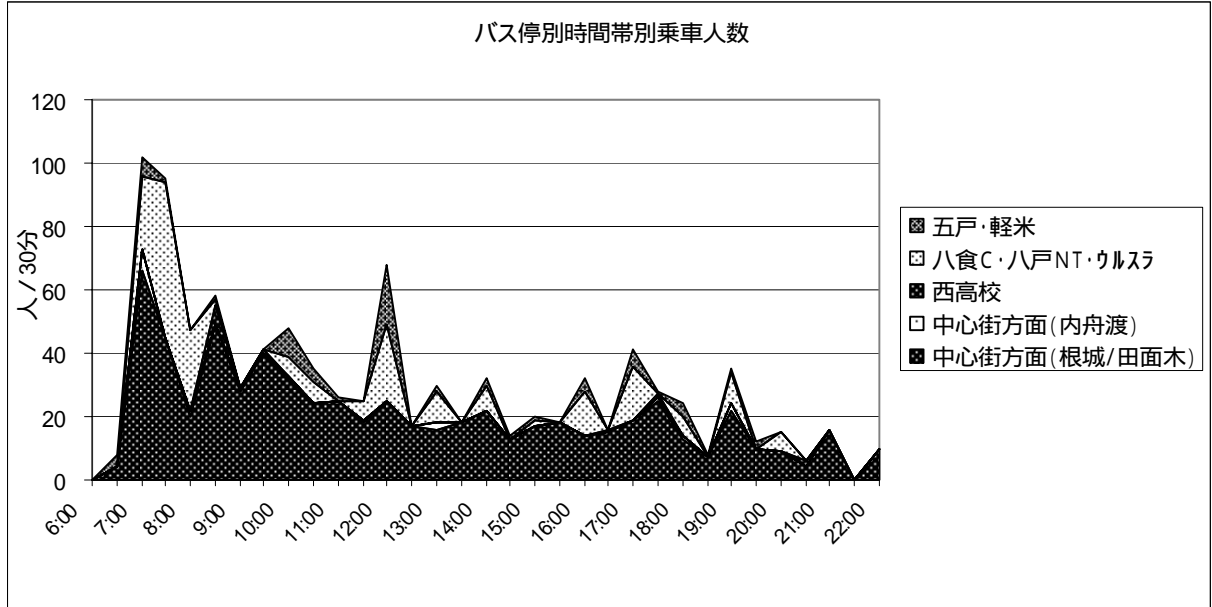
また、事業会社別では、南部バスが 480 人*（49%）*、八戸市営バスが 403 人（41%）、十和田観光電鉄が 35 人（4%）を占める。なお、南部バスに 100 円バスを加えると 536 人（55%）となる。

バス会社別乗車人員(人/日)

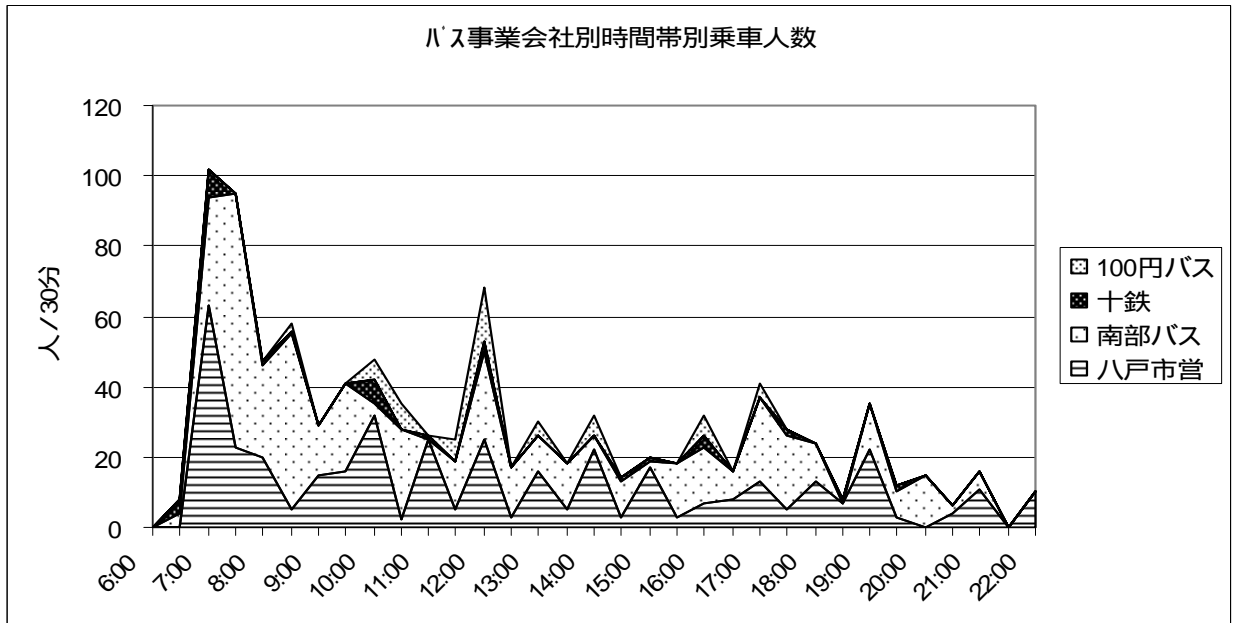


(2) 時間帯別 (30 分間隔) の乗車人数

時間帯別の乗車人員は、中心街への利用者と聖ウルスラ学院への通学者の利用が重なる 7:00~7:30 がピークであり、その後、のこぎり歯状に暫減している。これは、新幹線の到着が毎時 0 分前後になっているため、毎時 0 分~30 分の方が多いいことを示している。



バス事業会社別に見ても朝の通学利用が重なる 7:00~8:00 がピークである。100 円バスは特に午前中の利用が多い結果となっている。(注：八食センター休業日)



< 参考 >

時間帯別バス停別乗車人員

発車時刻	中心街方面 (根城/田面 木)	中心街方面 (内舟渡)	西高校	八食C・八 戸NT・ウルス ラ	五戸・軽米	降車専用	合計
6:00 ~ 6:29	0	0	0	0	0	0	0
6:30 ~ 6:59	4	0	0	0	4	0	8
7:00 ~ 7:29	66	7	0	23	6	0	102
7:30 ~ 7:59	45	0	0	49	1	0	95
8:00 ~ 8:29	20	2	0	25	0	0	47
8:30 ~ 8:59	49	0	6	2	1	0	58
9:00 ~ 9:29	28	1	0	0	0	0	29
9:30 ~ 9:59	40	0	1	0	0	0	41
10:00 ~ 10:29	32	1	0	6	9	0	48
10:30 ~ 10:59	24	0	0	7	4	0	35
11:00 ~ 11:29	25	0	0	0	1	0	26
11:30 ~ 11:59	18	1	0	6	0	0	25
12:00 ~ 12:29	25	0	0	24	19	0	68
12:30 ~ 12:59	17	0	0	0	0	0	17
13:00 ~ 13:29	16	2	0	10	2	0	30
13:30 ~ 13:59	18	0	0	0	0	0	18
14:00 ~ 14:29	22	0	0	8	2	0	32
14:30 ~ 14:59	13	0	0	0	1	0	14
15:00 ~ 15:29	17	0	0	2	1	0	20
15:30 ~ 15:59	18	0	0	0	0	0	18
16:00 ~ 16:29	14	0	0	14	4	0	32
16:30 ~ 16:59	15	0	1	0	0	0	16
17:00 ~ 17:29	19	0	0	17	5	0	41
17:30 ~ 17:59	25	1	1	0	1	0	28
18:00 ~ 18:29	13	1	0	6	4	0	24
18:30 ~ 18:59	7	0	0	0	1	0	8
19:00 ~ 19:29	22	2	0	10	1	0	35
19:30 ~ 19:59	10	0	0	0	2	0	12
20:00 ~ 20:29	9	0	0	6	0	0	15
20:30 ~ 20:59	4	0	2	0	0	0	6
21:00 ~ 21:29	16	0	0	0	0	0	16
21:30 ~ 21:59	0	0	0	0	0	0	0
22:00 ~ 22:29	10	0	0	0	0	0	10
合計	661	18	11	215	69	0	974

(注：調査日は八食センター休業日)

< 参考 >

時間帯別事業者別乗車人員

発車時刻	八戸市営	南部バス	十鉄	100円バス	合計
6:00 ~ 6:29	0	0	0	0	0
6:30 ~ 6:59	0	4	4	0	8
7:00 ~ 7:29	63	31	8	0	102
7:30 ~ 7:59	23	72	0	0	95
8:00 ~ 8:29	20	26	1	0	47
8:30 ~ 8:59	5	50	1	2	58
9:00 ~ 9:29	15	14	0	0	29
9:30 ~ 9:59	16	25	0	0	41
10:00 ~ 10:29	32	3	7	6	48
10:30 ~ 10:59	2	26	0	7	35
11:00 ~ 11:29	25	0	1	0	26
11:30 ~ 11:59	5	14	0	6	25
12:00 ~ 12:29	25	25	3	15	68
12:30 ~ 12:59	3	14	0	0	17
13:00 ~ 13:29	16	10	0	4	30
13:30 ~ 13:59	5	13	0	0	18
14:00 ~ 14:29	22	4	0	6	32
14:30 ~ 14:59	3	10	1	0	14
15:00 ~ 15:29	17	2	1	0	20
15:30 ~ 15:59	3	15	0	0	18
16:00 ~ 16:29	7	16	3	6	32
16:30 ~ 16:59	8	8	0	0	16
17:00 ~ 17:29	13	24	0	4	41
17:30 ~ 17:59	5	21	2	0	28
18:00 ~ 18:29	13	11	0	0	24
18:30 ~ 18:59	7	0	1	0	8
19:00 ~ 19:29	22	13	0	0	35
19:30 ~ 19:59	3	7	2	0	12
20:00 ~ 20:29	0	15	0	0	15
20:30 ~ 20:59	4	2	0	0	6
21:00 ~ 21:29	11	5	0	0	16
21:30 ~ 21:59	0	0	0	0	0
22:00 ~ 22:29	10	0	0	0	10
合計	403	480	35	56	974

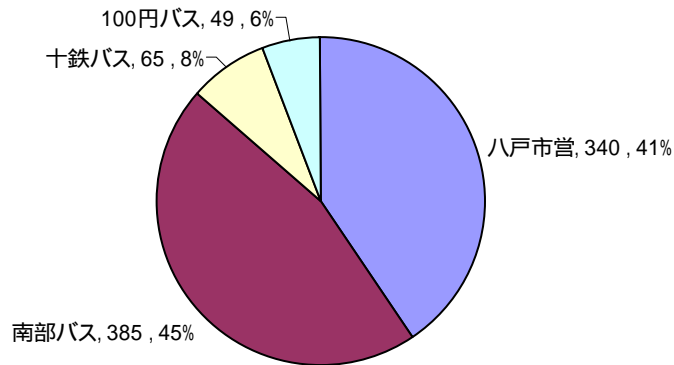
(注：調査日は八食センター休業日)

(3) 1日あたりの降車人数

1日の総降車人数は839人であり、乗車人数974人に対し、86%と減少している。

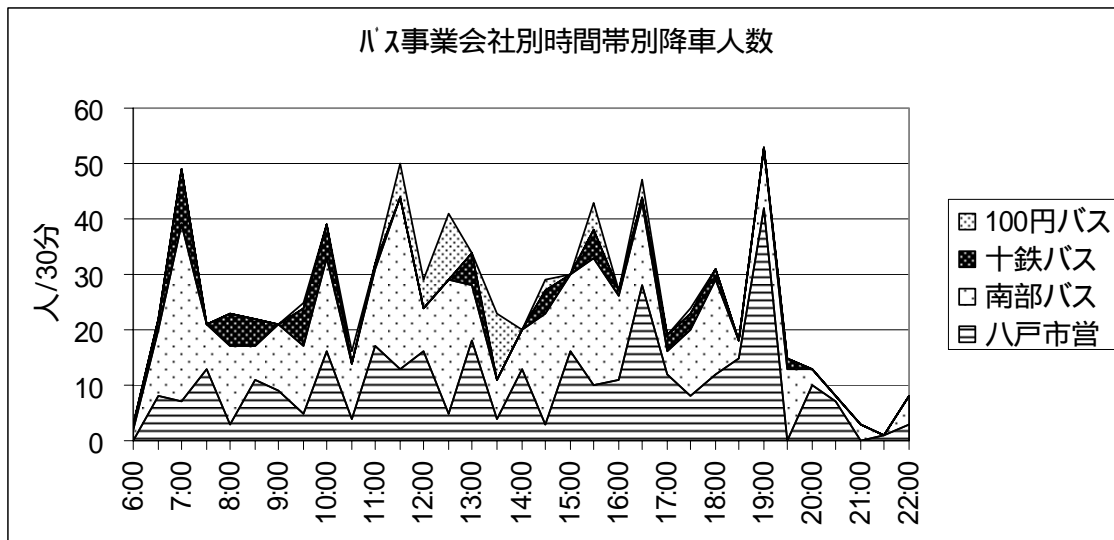
事業会社別では、南部バスが380人*(45%)*、八戸市営バスが340人(41%)、十和田観光電鉄が65人(8%)を占める。なお、南部バスに100円バスを加えると429人(51%)となる。

バス事業会社別降車人数(人/日)



(4) 時間帯別(30分間隔)の降車人数

降車のピークは朝の7時前後、昼11時前後、夕方19時前後となっている。



< 参考 >

時間帯別事業会社別降車人員

到着時刻	八戸市営	南部バス	十鉄バス	100円バス	合計
6:00 ~ 6:29	0	2	1	0	3
6:30 ~ 6:59	8	12	2	0	22
7:00 ~ 7:29	7	32	10	0	49
7:30 ~ 7:59	13	8	0	0	21
8:00 ~ 8:29	3	14	6	0	23
8:30 ~ 8:59	11	6	5	0	22
9:00 ~ 9:29	9	12	0	0	21
9:30 ~ 9:59	5	12	7	1	25
10:00 ~ 10:29	16	17	6	0	39
10:30 ~ 10:59	4	10	0	2	16
11:00 ~ 11:29	17	14	1	0	32
11:30 ~ 11:59	13	31	0	6	50
12:00 ~ 12:29	16	8	0	5	29
12:30 ~ 12:59	5	24	0	12	41
13:00 ~ 13:29	18	10	6	0	34
13:30 ~ 13:59	4	7	0	12	23
14:00 ~ 14:29	13	7	0	0	20
14:30 ~ 14:59	3	20	4	2	29
15:00 ~ 15:29	16	14	0	0	30
15:30 ~ 15:59	10	23	5	5	43
16:00 ~ 16:29	11	15	1	0	27
16:30 ~ 16:59	28	15	1	3	47
17:00 ~ 17:29	12	4	3	0	19
17:30 ~ 17:59	8	12	3	1	24
18:00 ~ 18:29	12	17	2	0	31
18:30 ~ 18:59	15	3	0	0	18
19:00 ~ 19:29	42	11	0	0	53
19:30 ~ 19:59	0	13	2	0	15
20:00 ~ 20:29	10	3	0	0	13
20:30 ~ 20:59	7	1	0	0	8
21:00 ~ 21:29	0	3	0	0	3
21:30 ~ 21:59	1	0	0	0	1
22:00 ~ 22:29	3	5	0	0	8
合計	340	385	65	49	839

(注：調査日は八食センター休業日)

2.共同運行化による八戸駅乗降者人数等の増加について

八戸駅線に係る「八戸駅前」バス停での平成20年12月10日(水)の実態調査乗降量結果と平成19年八戸市交通部、および、南部バス株式会社の八戸駅乗車人数を比較

(1) 乗車人数増と運行効率の向上

1日当たりの八戸駅での乗車人数は共同運行前の前年6月、または、7月と比較して**1日当たりで91人(15.3%)増**となった。

調査日の季節的な差異を考慮する必要があるが、八戸駅線沿線の市民アンケートでも、共同運行後に乗る回数が増えたとの回答が見られ、**共同運行化に伴う利用促進の効果が**でているものと考えられる。

また、**共同運行化に伴う2事業者のダイヤ調整により運行便数の総数が減ったことにより、1便あたりの乗車人数は2.1人ほど増加し、乗車効率が向上した**と考えられる。

さらに、運行便数の減はそのままCO2の削減など、**環境負荷の軽減にも寄与**していると考えられる。

八戸駅線共同運行化後の八戸駅乗車人数の比較

区分		共同運行前	共同運行後	差	%
八戸市交通部	乗車人数	388	403	15	3.9%
	便数	75	56	-19	-25.3%
	1便当り平均	5.2	7.2	2.0	39.1%
南部バス	乗車人数	206	282	76	36.9%
	便数	55	46	-9	-16.4%
	1便当り平均	3.7	6.1	2.4	63.7%
計	乗車人数	594	685	91	15.3%
	便数	130	102	-28	-21.5%
	1便当り平均	4.6	6.7	2.1	47.0%

注)共同運行前乗車人数:市営バス19年6月、南部バス平成19年7月平日調査データ、内舟渡経由含む

注)共同運行後の乗車は1番~3番の2社の乗車人数計(内舟渡経由、八戸西高発を含む)

注)便数は中心街方面をカウント、片道で1とカウント